別記第2号様式

令　和　４　年　度
北海道高等学校ＰＴＡ連合会「高校生と語るつどい」事業
実　施　報　告　書

令和５年１月５日

北海道高等学校ＰＴＡ連合会　会長　様

北海道高等学校ＰＴＡ連合会胆振支部
支部長　山　端　敬　史
（当番校名　苫小牧南高校）

本事業が、令和　４年１２月１６日完了したので、次のとおり関係書類を添えて報告します。

記

１　事業実施概要

(1)　期　日　　令和　４年１２月１６日（金曜日）１６時００分から
　　令和　４年１２月１６日（金曜日）１８時００分まで

(2)　会　場　　北海道苫小牧南高等学校第１講義室

(3)　実施形態

・　ワールドカフェ方式　　・従来方式

(4)　参加者等

ア　参加学校　　１校
（校名：苫小牧南高　単Ｐでの開催）

イ　参加者総数　　２３名

生徒数	引率数	保護者数	運営者数	その他	合　計
１３名	０名	４名	４名	２名	２３名

(5)　事業内容

ア　事業の概要

ワールドカフェ方式により、高校生と保護者、教職員が交流する中で、若者が抱える今日的課題や将来に向けての発展的事柄を、自由に結論を求めず会話し議論をする。

イ　講師

NEONE（ネオン）代表　馬　場　航　平　氏

ウ　テーマ

「その校則、必要ですか？」

２　事業実施による成果

高校生、保護者、教員それぞれの立場で言えなかったこと、聞きたかったことが語られ、話し合いに臨む心構えを養い、他者理解が深まった。

３　今後の課題等

コロナ禍の中、感染予防対策に努め実施したが、次年度以降も同状況下であれば、引き続き対応が必要である。

＜記入上の留意事項＞

１　「１（５）　内容」には、活動の内容を具体的に記載すること。

２　「２　事業実施による成果」には、当該事業により生徒・保護者・学校・地域・家庭等への期待される効果等について、詳細に記載すること。

３　「３　今後の課題等」には、来年度以降の実施にあたり、検討すべき課題等があれば具体的に記載すること。

４　本報告書には、開催要項・参加者名簿・写真等を添付すること。